

エコけん ニュース

No. 77 2005. 12

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00) e-mail eco_ecoken.@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/




11月活動報告



暖かい日が続いたと思えば、あっという間に急に寒くなりました。皆様、お変わりありませんか。

11月のエコけんは、連携教室の仕上げの月でした。3回にわたる一連の実施のために担当者は何度も打ち合わせを重ね、また学校にもたくさんのご協力をいただきました。うれしいことに、その実践を含む省エネ学習が評価を受け、全国大会に参加することになったそうです。わたし達も励みになりました。また、恒例の視察研修や省エネ普及指導員講習参加も無事終え、ほっとしました。

エコロの森での活動は、後期 MY 企画の募集期間でした。自分の好きなこと、興味のあることを、自分で立案して実施していくフィールドづくりも、右往左往しながらどうにか進んでいます。これも皆様のご理解あってこそと感謝しています。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
1		ボラ会議 MY企画実施期間
4	安全衛生講習受講	商品開発
7	視察研修	
8	出前講座(連携教室:小学校)	ボラ会<エコエコクッキング>
9	省エネ普及指導員講習受講	エコエコクッキング 
10		エコ環境教室(行政)
11		エコ環境教室(中学校)
14	定例会議	運営会議
15	活動支援:with kids コーサタ-7号配信	ICD講座 ボラ会<鹿油石けん> ボラ育成会議 しぐら-ボラ会
16		展示会議 教室会議
17	活動支援:with kids	リメイク教室<廃油石けん>
18		エコ環境教室(市民グループ)
19	福津市環境フォーラムバ 礼拝参加	創作アート教室<パッカルケース> かえっこ 
20	北部九州エネルギー環境教育研究会実践発表会発表	
22		ボラ会<エコエコクッキング>
24		エコエコクッキング 
29	エコけんニュース76号発行	エコ環境教室(行政) ほっとちやっと30号発行
30	出前講座(連携教室:小学校)	

H17年もあと僅か。よいお年をお過ごし下さい!



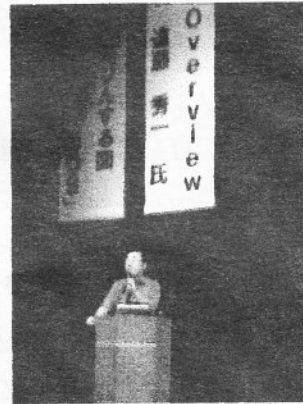
福津市環境フォーラム 参加報告



11月26日(土)、カメリアホールで開かれた福津市主催の「環境フォーラム」に行ってきました。

基調講演は、遠藤秀一さんによる「水没の危機にひんする国 ツバルからのSOS」。エコけんが環境教室で使っているツバルの写真を撮影した方です。

南太平洋の小さな環礁の上にあるツバル共和国は青い海と空が印象的ですが、1年に何度もツバルを訪れている遠藤さんからはそこで暮らす人々の生活と同時に、海面上昇による最新の被害が報告されました。温暖化の影響に直面している現実を通して、緊急の温暖化対策として私たちが生活を見直す必要があるということを強く訴えておられました。

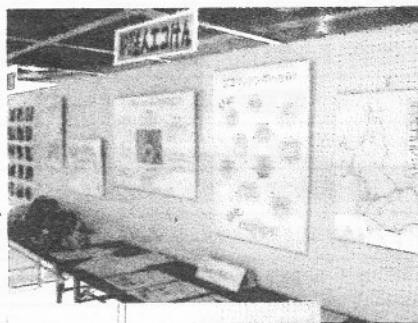


▲基調講演(遠藤秀一さん)



▲ボランティア活動紹介

その後のパネルディスカッション「地域で取り組む環境保全活動」では昆虫やカブトガニの観察を通じた自然環境保護団体の方々の活発な活動や直面する問題が報告され、熱い思いが伝わってきました。また、エコけん代表の清水もパネリストとして参加し、ボランティア活動を継続、発展させるための手段の一つとしてMY企画を提案したり、エコロの森での活動を紹介しました。



展示物
↓
遠藤秀一氏写真展



会場では小中高校を初めとする様々な環境保護活動団体のパネル展示もあり、福津市全体で活発に環境保護に取り組んでおられる様子がうかがわれました。個々の活動団体が互いに情報や意見を交換しあう場があるといいなと思いました。

「元気プロジェクト」に参加して!

12月10日(土)～11日(日)福岡教育大学で“教員養成大学が現代的教育課題に対応するための基盤整備 第4回「元気になる授業の創り方」～総合的な学習の時間を体験してみよう～”というなが～いお題の付いた研修に参加してきました。



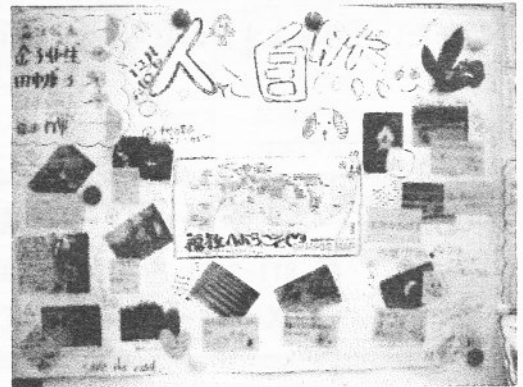
▲アイスブレイクはUFO到来!

得たところ(=自分の活動に生かせそうな点)はたくさんありましたが、今日はその中のひとつをご紹介します。

初日、最初の活動は「人時ウォッチング」というものでした。班ごとに視点を次のように定め(A班:時の流れ B班:人と自然 C班:人の活動)、今ここで感動したものの、他者にぜひ伝えたいものを探してくる、という使命を果たすべく学内を散策します。

教室に戻って各班が発表したあと高田先生がおっしゃるには、体験活動における視点の切り口は、①間口は狭く ②意味は曖昧な方がおもしろい ということです。参加者は、視点の切り口をいかに定めるかで、活動へのモチベーションも内容も変わってくるのだなあと思いました。これは、体験参加型のエコロの森ステーションの運営にも大いに参考にしたいところです。一見同じことをやっているように見えても、その意味や効果は大きく異なるのだ、と心に刻みました。

ファシリテーターは、岐阜県立森林文化アカデミー教授の高田研先生です。両日ともに、ワークショップスタイルを体験をしながら、かつ、実施者としての留意点を折々に説明いただくという、少々複雑な仕組みになっていました。



▲見た目もきれいで楽しい成果物




皆さん、新しい発想や方法を求めてこのようなプロジェクトに参加されませんか。第5回は1月7日～8日だそうです。詳しくは次のホームページアドレスをご参照ください。

<http://fujiwnt1.fukuoka-edu.ac.jp/~sogou/index.html>

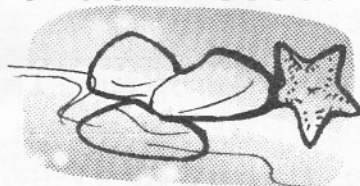
エコステだより

後期MY企画

2回目を迎えた「やっちゃえ!MY企画」は、前後期あわせて8件の応募がありました。12月に入り下記3件が始動しています。

どんぐりトロ	ヨーヨーキルト	シーグラスフォトフレーム
自然素材と 廃材を使った ワークショップ 	古布の 再生利用を 提案 	シーグラスと 廃材をあわせた 作品の提案 

★捨てられたガラスびんが波に洗われてきれいな“シーグラス”になります。
 海・川岸で拾える角が丸くなったガラス片を
 もしお持ちの方がおられたら、寄付していた
 だけると嬉しいです。



「やっちゃえ!MY企画」は“わたし”の思いやアイデアを形にしていく楽しさを実感していただけるといい、そんな願いを込めて、これからも続けて行きたいと思います。お立ち寄りの際にはどうぞご覧下さい。



◆◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

❖ 平成18年、エコけんは、法人となって5年目を迎えます。
 今後ともよろしくお願ひします。

